(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間:令和2年度~令和6年度

計 画 内容

- 1. 事業実施の基本方針
- 2. 事業計画
- 3. 事業実施の成果目標と実績
- 4. 事業評価と対応

香川県

1. 事業実施の基本方針

目標年度	計和6年度	
現状と課題	・ 県の中山間地域においては、過疎化、高齢化等の著しい進行により地域の活力が低下しつつあり、将来にわたり農地や農業用施設の有する多面的機能が十分 か危ぶまれている状況である。このため、中山間地域の活性化や多面的機能の良好な発揮を図ることが重要な課題となっている。	テに発揮さ
事業実施の 基本方針	山間地域において、農地や農業用施設の有する多面的機能の良好な発揮と中山間地域の活性化を図るため、中山間地域の農地の状況、地域資源、保全活動の現状を計 魅力ある資源を十分発揮した活性化を推進する。また、都市住民に対して農地や農業用施設の持つ役割等について普及啓発活動を実施することで、都市住民との交流を	
計画後の 目指す姿	山間地域における住民の保全活動に対する意識や理解度が高まり、各地域に即した地域活性化や保全活動が継続的に展開され、中山間地域の有する多面的機 揮されることを目指す。また、中山間地域における農村の魅力や現状について都市住民からの理解が深まることにより、地域活動への理解や中山間地域と都 流を促進する。	

2. 事業計画

事業(取組)名	事業(取組)内容	達成すべ き目標 との関連	事業実施 要綱上の 該当項目	5ヶ年間の事業(量)内容					5年間の 総事業費 (千円)		
①中山間地域資源保 全対策事業	大学へ業務委託を行い、地域の現状の調査、地域資源を活か した活性化方策及び活動計画の検討などの地域活性化に資す る調査研究を行う。	П	ふる水 第3-2-(1)	_ // // / / / / / / / / / / / / / / / /	の農地・農業用施設の現状や魅力ある資源を調査し、地域の保全や活性化を図る上で何が必要かを検証するための現状調査(アンケート調査も含む)・課題抽出を行い、そ 等を検討する。5年間で地域活性化計画を2地区策定する。						
②指導員育成研修事業	全国土地改良連合会で主催される研修会等にふるさと水と土 指導員候補者などを派遣し、人材の育成や活動に関する能力 の向上を図る。また、指導員及び活動組織の代表などを交え た意見交換会を実施するとともに、県外先進地へ視察を行 う。	П		全国土地改良連合会で主催される それぞれ5年間で10名派遣する。	上地改良連合会で主催される研修会に指導員(又は指導員候補者)を2名/年×5年=10名派遣する。また、県内研修会及び県外先進地視察も年1回開催するとともに、ごれ5年間で10名派遣する。						
	美しい農村風景の写真を通じて、農村の持つ多面的機能や公 益的機能の素晴らしさを再発見し、その理解を深めるため、 写真コンテストを実施。	Ι			コンテストを幅広く周知し、R2~R6年度の5年間の平均応募者数を1割増やす。R2~R6年度の5年間の平均応募者数 295人 7 281人 H28 281人 H29 226人 H30 291人 R1 261人 計1,340人 平均268人 目標268×1.1≒295)						
	都市部の小学生を対象に、県内の代表的な農業水利施設である満濃池や豊稔池等を巡り、農業用施設の重要性や農村の持っ役割について理解を深める。	I			5 さと探検隊を幅広く周知し、R2~R6年度の5年間の平均応募者数を1割増やす。R2~R6年度の5年間の平均応募者数 135人 17 68人 H28 75人 H29 177人 H30 106人 R1 179人 計605人 平均121人 目標121×1.1≒135)						
⑤ふるさと水と土 指導員活動支援	中山間地域において、地域住民活動に必要な助言・指導を行 う地域のリーダーであるふるさと水と土指導員を委嘱し、そ の活動に要する経費を支援する。	П	ふる水 第3-2-(3)	ふるさと水と土指導員の活動を支	さと水と土指導員の活動を支援するとともに5年間で指導員を5名増やす。 15,000						
⑥広報活動事業	土砂災害防止機能や地下水かん養機能など中山間地域がもつ 「多面的機能」を県民に広く周知する活動を行う。	Ш	棚田 第3-2-(1)	多面的機能を県民に広く周知する	面的機能を県民に広く周知するとともに、棚田カード地区を5年間で倍増させる。 1,850						
⑦棚田地域等保全活動支援	中山間地域の農業・農村の活性化に資することを目的として、住民組織が行う棚田地域等の保全活動に要する経費へ支援を行う。	Ш		本事業を広く周知するとともに、 (7地区/年×5年=35地区)	事業を広く周知するとともに、毎年度7地区支援する。 地区/年×5年=35地区) 52,350						
			•	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
			31								
中山間ふるさと・水 と土保全対策事業 (ふる水と土基金)	計画事業費(実績額)			14,433	16,000	17,000	18,000	18,000			
中山間ふるさと・水	ト			8,200	10,000	11,000	12,000	13,000			
と土保全推進事業 (棚田基金)	(実績額)										

3. 事業実施の成果目標と実績

	達成すべき目標	指標	基準値 (R1実績)	目標値	年度ごとの実績					達成度	備考
	達成りへ合 日標				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	连队及	1佣-/5
I	農地及び農業用 施設の維持・保 全・管理活動を 通じた多面的機 能の発揮	応募者数の増加	<③写真コンテスト> 応募者数261人	平均応募者数を1 割増やす。 目標295人							
			<④探検隊> 応募者数179人	平均応募者数を1 割増やす。 <mark>目標135人</mark>							
		地域活性化を図 る指導員の発掘 及び増加	<①中山間地域資源保全対策事業> 地域活性化計画の策定 0地区	5年間で地域活性 化計画を2地区策 定する。							
П	以仕氏心勁により		<②指導員育成研修事業> 研修派遣 1名	研修会に5年間で 10名派遣する							
			<⑤指導員> 4名	5年間で指導員を <mark>5</mark> <mark>名</mark> 増やす。							
	Jm — - /- A — - A	地域活性化を図	<⑥広報活動事業> 棚田カード2地区	5年間で実施地区 を倍増させる。							
Ш	棚田の保全及び地域の振興	る地区の発掘及び増加	<⑦棚田支援> 支援地区 7地区	<mark>毎年7地区</mark> を支援 する。							

4. 事業評価と対応

. ‡	成すべき目標	事業実績の評価						
15	三成り、こ日保	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	備考				
1 *	農地及び農業用施設 の維持・保全・管理 活動を通じた多面的 機能の発揮							
П	中山間地域の地域住 民活動による地域の 維持・活性化の実現							
Ш	棚田の保全及び地域 の振興							